

あたらしい複合施設について  
みんなで考える

WORKSHOP

# 第1回ワークショップ 開催結果

8月26日（土）23名の方々に参加いただき、  
「あたらしい複合施設について考える、第1回市民ワークショップを実施しました。」

## 【はじめに】

- 事務局から、多くの市民の皆さんに親しまれ使ってもらうために、どのような運営を行っていくのが良いのか、出していただいたアイデアを施設の運営に活かしていくことを目的に、このワークショップを実施するとの趣旨説明を行いました。
- 複合施設整備基本設計の策定に携わった市岡委員長からは、「キーワードは**えがお**」 ホットとして、帰りには笑顔になる施設になってほしい。日常生活の中でみんなの大事な場所になるような施設になってほしいと、施設設計への想いを話していただきました。
- また、事務局から基本設計の概要等について紹介しました。

## 【ワーク】

- 参加者が4班に分かれ、自己紹介のあとアイデア出しを行いました。



【事務局説明】



【市岡氏挨拶】



【WSの様子】

第1回WS  
①班

# 「みんなの笑顔がつながるほっとスペース」 ってどんなところ？

## 【学生・子ども向け特典がある】

- 来館スタンプ・ポイント等があり、ポイントに応じて市内や地区内でサービスや利用特典がある。

## 【癒しがある】

- 猫カフェ、犬カフェのような動物がいる場。
- 看板犬や猫駅長のように館長が動物でも面白い。

## 【イベントがある】

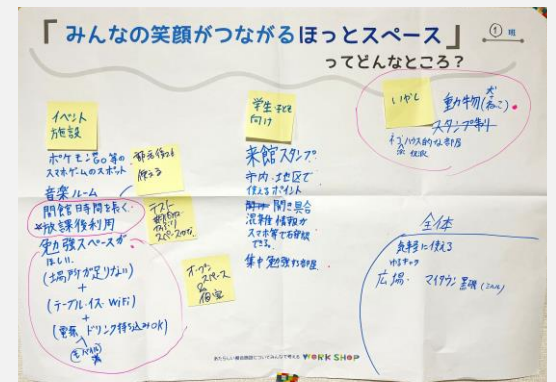
- ポケモンGO等のスマホゲームのスポットになる。
- ここに来ると何かやっている。

## 【学生のライフスタイルに合わせた施設】

- 平日は放課後利用がメインになる。部活後でも利用可能なように少しでも、開館時間を長くしてほしい。（22・23時ごろまで）
- 勉強できるスペースが欲しい。現状そのような場所が足りていない。黒磯図書館など利用している。
- オープンスペースと集中できる静かな部屋の両方があると嬉しい。好ましい。
- 机といす、Wi-Fi、電源（モバイル充電器）があり、かつドリンク持ち込み自由な場。
- ドリンク等の販売がある・買える。

## 【全体・使いやすさ】

- 気軽に使える。
- みんなの広場のような場所。
- スマホアプリ等の活用。  
→館内の混雑具合が確認できる  
& 予約できるなどの機能



## 第1回WS ②班

# 「みんなの笑顔がつながるほっとスペース」 ってどんなところ？

### 【情報発信】

- SNS発信可能な場所
- 若い人が発言できる場所  
→自分たちの意見を  
反映できる！
- 施設で何をやっているかがわかる

### 【講座・学び】

- レッスン講座がある
- この日にこのプロがいる。こういう  
頼れる人がいる。

### 【イベント】

- 自由参加なイベント
- バザーの開催（月一回）
- のみの市（ガラクタのような古道具や古着など、  
露天で自由に売り買いできる）
- 夏祭りや地域の方が出店するマルシェ

### 【食】

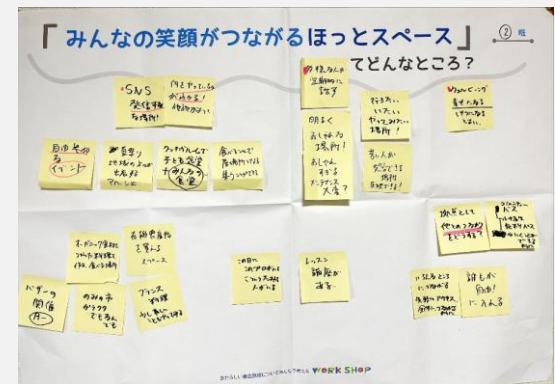
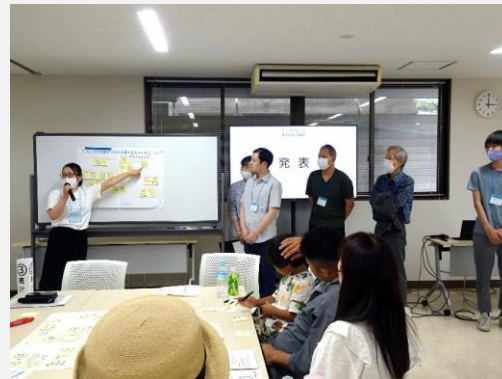
- クッキングルーム  
→ 子ども食堂+みんなの食堂
- 食べることで居場所となる・集うことができる
- オーガニック食材を使った料理を作る・食べる  
場所
- 有機農産物を買えるスペース
- フランス料理教室など、自分だけで取り組むに  
は少し難しいことも、この場所なら取り組むこと  
ができる

### 【全体・使いやすさ】

- ウェルビーイング  
→ 幸せになる施設になると良い
- 多様な人が定期的に話す
- 行きたい・居たい・やってみいたい場所
- 誰もが自由！に入れる
- 明るくおしゃれな場所
- おしゃれすぎるとメンテナンスが大変？

### 【その他】

- 拠点として他とのつながりをどうする？
- 白河市内のいろんなところにつながる  
→ 中心部だけでなく、表郷・大信・東などを含  
めた非中心部からもアクセスできるようにして  
ほしい。
- コミュニティバス  
小中学生 無料バス  
→ 気軽に行くことができるようにしてほしい。



# 「みんなの笑顔がつながるほっとスペース」 ってどんなところ？

## 【音楽の練習・演奏会】

- ・ 楽器練習（レッスン）
- ・ 練習を披露できる演奏発表の場（フリースペース）
- ・ 楽器を楽しんで練習している子どもたちの発表の場

## 【マルシェ・交流会・イベント】

- ・ 田舎を感じられる交流会（マルシェ）
- ・ 癒される空間があること（自分を出せる場所）
- ・ 地元の野菜等 白河を感じられる、ほっとする
- ・ オーガニック農家さんの出店
- ・ キッチンカーを入れる
- ・ 体に良い素材の食品販売
- ・ クイズ・白河検定（郷土愛を育む）
- ・ エコチャレンジ→自転車発電などの環境学習

## 【起業支援（好きな事を仕事にしたい）】

- ・ 気軽に起業女子支援
- ・ 起業支援（チャレンジルーム）
- ・ チャレンジショップ（1年ではなく短期間でも）
- ・ 菓子製造許可があるキッチンを利用→販売（マルシェ、イベントなど）
- ・ セラピー等 レンタルスペースが使える
- ・ 時間を選ばず働ける場所（コワーキング）

## 【気軽に学べる教室、習い事等】

- ・ 軽い習い事

## 【人と人をつなぐ仕組み】

- ・ コミュニティマネージャー
- ・ 市民活動の実施支援（教えた人、習いたい人のマッチング）
- ・ イベント（人材）コーディネーター（企画者）がいる
- ・ 白河のすべての情報が分かる場所（にこここども館みたいな感じ）

## 【子ども】

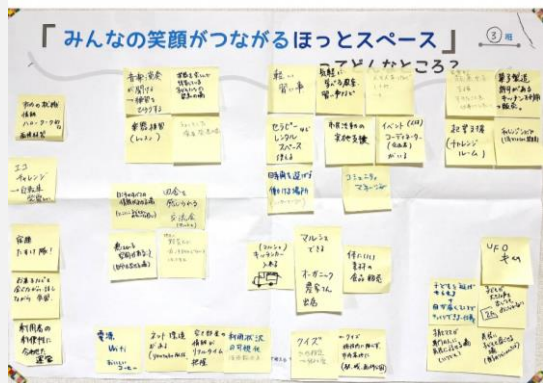
- ・ 子どもを遊ばせられる+目が届くところでゆっくりできる+仕事もできる
- ・ 子育てママがいつでも専門の人に気軽に話せる場
- ・ 子どもが大きな声を出しても怒られない（2F）
- ・ 気軽に子どもと過ごせる場（親子の集いの広場）
- ・ UFOキャッチャー

## 【学生の居場所、支援】

- ・ 市内の就職情報
- ・ ハローワーク的な面接練習
- ・ 宿題助け隊！
- ・ お菓子などを食べながら、話しながら学習

## 【環境整備】

- ・ ネット環境がある（電源、wi-fi）
- ・ 空き部屋の情報がリアルタイムで把握できる
- ・ 利用状況の可視化(市内他施設も)
- ・ 利用者の利便性に合わせた運営
- ・ YouTube配信
- ・ おいしいコーヒー



第1回WS  
④班

# 「みんなの笑顔がつながるほっとスペース」 ってどんなところ？

## 【コンセプト】

- 開かれた場所
- コンセプトの「つながる笑顔」は建物の中にあるだけではなく、外への発信が必要

## 【ハード面】

- 谷津田川の水を利用できると良い
- 屋根面積を利用して雨水利用をした方が良い
- 出生数が300人台となる今、費用も考えるべきで、教育行政と連携が必要

## 【マイノリティ】

- 車椅子用の駐車スペースも必要
- ミーティングルーム（外国の方が安心して利用出来るように）

## 【学び】

- 街の歴史や変化を知る機会（講座）
- 市民大学

## 【コミュニティ ものづくり】

- DIY・ものづくりなど、アーティストのWSのきっかけになる場所（趣味の発表をビジネスに）
- クッキング・工芸等（ものづくり）を通して年齢問わず交流できる
- 3Dプリンター、ドローンなど新しい技術にふれられる
- 興味はあるけど一人ではできないことを相談できる場所

## 【利用できる時間】

- 土日休日も利用できる
- 平日は20時 休日は18時まで利用できる
- 22時間くらいまで仕事帰りにも寄れたら良い（土日・平日）
- 仕事終わりにリラックスできるような取り組み（ヨガ・フィットネス的な）

## 【つながり】

- 一人暮らしの方との交流
- 中高生が集まれる（話ができる）
- 学習できる
- 利用者がつながり合える仕組み（マルシェや掲示板、お祭りetc）
- 市内の他拠点をつなげる機能（市民団体のつながりづくり）
- 旧三村の人々が参加しやすい工夫が必要
- 活動のコーディネート（人・団体・仲間づくり）

## 【子育て】

- 一人親家庭への支援
- 子どもと一緒に遊べる
- 子どもが安全・安心して過ごせる
- 子育ての話ができる
- 子どもが広々とした所で活動できる運営面の工夫がほしい

